

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



第7回学術大会を終えて

大会長

久村 正也（北海道支部長）

全国の会員の皆様、こんにちは。
北海道はすっかり秋につつまれ、朝夕には暖房の欲しい時節になりました。

夏の日の暑い思い出となった第7回日本音楽療法学会札幌大会は、さる9月7日～9日の三日間、札幌コンベンションセンターにおいて開催され、沢山の皆様のご参加のもと、成功裡に終わることが出来ました。感謝の気持ちを添えて、ここに大会報告をさせていただきます。

9月7日：学術大会前日の講習会は、16講義を用意させて頂きました。台風9号の影響で、参加者の足並みが乱れたものの、受講者1,000名を超える充実したものになりました。

今回は特別企画としてナイトレクチャーを組ませて頂きましたが、予想以上の好評を博しました。

また、当日は理事会、評議員会が開催されました。

9月8日：学術大会初日。台風も去り、札幌らしい気候になりました。

開会行事、日野原理事長の挨拶に続いて、基調講演が行われました。「音楽療法の問いに向かうための多様な研究方法」(ウイラー教授)および「臨床に基づく理論構築のための研究とは何か」(ケニー教授)は、ともにご自身の長い臨床経験から生み出された含蓄に富む内容で、私たちの今後の音楽療法実践に多くのヒントとノーハウを教えてくれるものでした。

昼休みのコンサートは大ホール一杯にパーカッションが響きわたり、参加者の心を慰め、また鼓舞してくれました。

研究発表は口演56題、ポスター24題が活発な質疑応答とともに討論されました。

今大会ではじめて企画された自主シンポジウムは6題が採択され、うち3シンポジウムが持たれました。自主シンポジウムは、まさに会員の、会員による、会員のための研修会であり、今後さらに精練された形式による一層の発展が期待されます。

プロジェクト研究報告は4題、いずれもエビデンスを意識しての実証的な研究でした。

今回の大会テーマには、「学際性」と「全人性」とが謳われていますが、特別講演「音楽療法における治療的自我について」(中井教授)は、療法の「全人性」を真正面から語られた内容で参加者に大きな感動を与えるものでした。

また、昼休みを利用して、支部連絡会が開かれました。

お楽しみの交流会は、約400名の出席を得て本学会らしい余興を愉しみながら、ぬくもりとくつろぎと歓談の中に時を忘れる思いでした。

9月9日：学術大会2日目。大会長講演「心理療法としての音楽療法—心身医療の視点から—」では、心身症領域への

音楽療法の現状を鳥瞰し、音楽療法の一般性と専門性、他派心理療法の援用効果などについて私見を交えて述べさせて頂きました。後者は当然もう一つのテーマである“学際性”に関連するものであります。

教育講演「ホスピス緩和ケアにおける音楽療法の役割」(石谷博士)では、自らの経験を踏まえて、ホスピス医療における音楽療法の有益性、音楽療法士に望む期待などが語られました。

総会では、昨年度の決算・監査および来年度の予算案・事業計画案が承認されましたが、次いで国家資格化をめぐる様々な意見が交換されて終了予定時間が大幅に遅れ、ジャズコンサートを聴きそびれた方々の多かったことが残念でした。

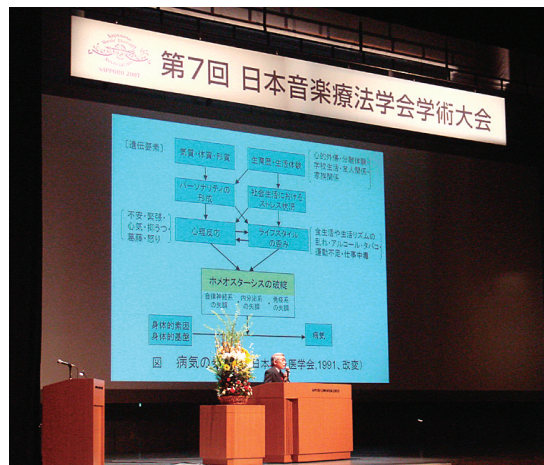
研究発表は、口演56題、ポスター55題と盛り沢山に加えて、自主シンポジウムおよびプロジェクト研究発表各3題が提示され、各々熱心な質疑応答がなされました。

参加者1,300名を超えた札幌大会は、総てのプログラムを順調に終え、第8回大会での再会を約束してその幕を閉じました。

今大会を通じての印象は、総じて演題の質が実証的で、かつ具体的になってきていること、全人生と学際性が意識されはじめつつあること、発表技法がより精練されたものに改善されてきていること、会員の多くが一日も早い身分法の実現を望んでいることなどでした。

札幌大会は、実に多くの人びとの善意のお力添えで完遂することが出来ました。

大会実行委員、道支部会員、学生諸君はもとより、道外会員、北海道医療大学、札幌市医師会、広告掲載各施設、企画担当各社そして本部事務局、その他有形無形の温かいご支援・ご声援を下さいましたすべての皆様にお礼申し上げて、大会報告と致します。



第8回日本音楽療法学会学術大会に向けて —第一次案内—

大会長 村井 靖児

第7回札幌大会が無事終わり、大会に参加された皆様もまたご自分の職場に戻り、臨床と研究の毎日に励んでおられることと拝察いたします。台風一過のあの澄んだ青空の下、札幌コンベンションセンターの広々とした広がりの中、盛りだくさんのプログラムが行われ、十分に大会を満喫させていただきました。北海道支部の皆様お役目ご苦労様でした。

さて今回は、改めまして来年の第8回学術大会の開催についてお知らせをさせていただきます。第8回大会及び講習会は、2008年8月29日（金）、30日（土）、31日（日）の3日間、神奈川県川崎市の昭和音楽大学で開催することになりました。千葉県松戸市の聖徳大学で第3回大会を開催して以来、倉敷、名古屋、仙台、そして札幌と回った大会は、5年振りで関東地区に戻ることにあります。神奈川県と言いましても昭和音楽大学は、小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩5分の場所にあり、新宿から30分で会場に着くことができる、とても便利な所にあります。今年春新築されたばかりのキャンパスで、1,367名を収容できるメインホールと359名を収容するコンサートホール、また他大学には累を見ない音楽療法専用の教室や実践室が皆様をお迎えすることになります。どうぞご期待ください。

ところで第8回大会のメインテーマは、「音楽療法の学と術、—専門職への道のり—」というたいへん意味の深いテーマにいたしました。音楽療法士はこれから先、誰からも認められる専門職として、長い道のりを歩いて行かなければなりません。それはとても厳しく、また険しい道のりですが、同時に、個人としても、また学会としても踏破しなければならない目標です。私どもの学会は、これまでもまたこれからも、どうしたら有能な音楽療法士を育てることができ、そしてそ

の人たち一人ひとりに、どうしたら真摯に音楽療法の活動にまい進し続けてもらえるかを考えていくと思います。扱う対象は一人ひとり違って、音楽療法とは、究極的にはその対象の人間としての生きる幸せを音楽で達成しようと願う、仁と術と深い知恵を必要とする仕事なのだと思います。逆に言えばそれほど多くの不幸な人たちが日に日に増加して私たちの仕事を待っているということです。自分自身もまた子や孫もいつかはその対象になるかもしれません。だから真剣にまた早急にその方法を確立していく必要があります。

学会期間中は、そのテーマにそった基調講演、シンポジウム、そして盛り沢山の研究発表を行う計画です。これから十分にプログラムを練り、皆様に満足していただける大会にしたいと思っておりますので、どうぞ来年の第8回大会に是非大勢の会員の皆様が参加して下さることをお願い申し上げます。

【開催日および会場】

年月日：2008年8月29日（金） 講習会
30日（土） 学術大会第1日目
交流会（夜）
31日（日） 学術大会第2日目

会 場：昭和音楽大学

神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
（小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩5分）

【メインテーマ：音楽療法の学と術、—専門職への道のり—】

■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 加藤 美知子

今回の講習会は、音楽療法の臨床における原点に立ち返って、特に初心者・中堅の学会員を対象として企画いたしました。実践を始めたばかりの人にとっては、はじめのうちはただただ「やる」(doing) ことに意識が集中する時期が続きます。そして、不安と緊張の毎日の中で、少しずつ見通しがつくようになり、周りを見る余裕が出てきます。一方、実践を何年か続けた後にあらためて、自分がしていることが果たしてこれでよいのだろうかという、初心者の頃とは違った質の不安や焦燥感を覚える段階が訪れます。毎日の忙しさ、慣れてきたという感覚とあいまって、大切な基礎をどこかに置き忘れているような感覚です。「やる」だけでなく、音楽療法士としての自分の「あり方」(being) を見つめなおし、自分に栄養を与えリフレッシュすることも、大切な学びのプロセスになるのではないのでしょうか。そこで今回は、多くの実践を重ねてこられた音楽療法ひとすじの方達から、さまざまな視点、考え方、技術、事例などを紹介していただきながら、臨床家に求められることを二日間にわたってじっくりと学んでいきたいと思えます。もちろん、これから実践を始められる方、後進の指導にあたっている方にとっても、有意義な講習会となることでしょう。

2008年、月・日・時間	内容	講師・司会
3月1日(土) 12:00	受付開始	
13:00~13:10	開会挨拶	委員長:加藤 美知子
13:15~15:00	音楽療法概論1	伊藤 啓子(昭和音楽大学) 高畑 敦子(東邦音楽大学)
15:15~16:30	音楽療法概論2	伊藤 啓子・高畑 敦子
16:40~17:00	質疑応答	伊藤 啓子・高畑 敦子
3月2日(日) 9:00	受付開始	
9:30~11:30	音楽療法の基礎:観察のポイント —児童領域—	遠山 文吉(国立音楽大学)
12:45~14:45	音楽の使い方 —高齢者領域—	山口 潤子(足立老人ケアセンター)
15:00~16:30	総括:2日間のまとめ 質疑応答	講師全員 司会:加藤美知子

*講師の都合により変更が生じることがあります。その際は悪しからずご了承ください。

北海道支部 — 近況 —

支部長 久村 正也

全国の会員の皆様、こんにちは。お元気で、ご活躍のことと拝察申し上げます。
道支部の誕生は2002年9月ですから、やっと5歳になりました。この間、会員の切磋琢磨の甲斐があり、会員数200名の小粒ながら、どっしりとした大地にしっかりとした太い根が生えついたように、堅実な歩みをとげてまいりました。
貴重な紙面をお借りして、当支部の過去1年間の活動を報告致します。
去る5月20日に支部総会が開催され、型の如くの諸報告・諸案の検討に加えて、支部評議員の一部交代、札幌大会の準備状況などが報告され、今後の支部運営のさらなる一致協力が確認されました。
支部第11回研修会が支部総会当日に開催され、濃い内容で盛会裡に終わりました。次回の研修会は11月18日の予定です。
当支部研修会の特徴は、単に音楽療法に関する研鑽・研修にとどまらず、音楽療法士にとって必要と考えられる医学知識、あるいは他領域の心理療法をも学ぶ点にあり、この方針は幸いにも会員に好評を得ております。
支部ニューズレターは年3回発行され、学会動向、支部の会員動静・評議員会議事録・研修案内などを掲載し、相互の情報伝達を通して会員の連帯強化に役立っております。
支部ホームページの運営も順調であり、アクセス回数が増加しております。
将来的には、支部会誌の発行、音楽療法に関する市民公開講座の開催などを目指しておりますが、当面は基本的実力の養成に専念の状況です。
当支部の質的・量的向上のためには、全国の会員皆様の暖かいご支援とご指導が不可欠であり、今後とも宜しく願い申し上げます次第であります。



東北支部 — 近況 —

支部長 遠藤 安彦

今年の夏の猛暑には閉口しましたネエ。昨夏はそれほどでもなかったのですが、仙台だけは暑かった、いや熱かったのです。(第6回大会開催)
それを思い出すと、今札幌(第7回大会)は・・・と思いをはせること多々。ご苦労様!!
さて、東北支部は6月に八戸で支部大会を終えました。年度初旬に総会を開催することになり、今回はまた役員改選の選挙も実施され、新年度の役員も決まりました。
この新しい役員の方々との引継ぎの会議を、如何に最小の予算で実施するか悩みました。
東北地方の交通手段、距離、交通費は大きな予算支出になって財政を圧迫し、総会でも事業計画で説明・了承を得ながら、やっとの思いで各種委員会も含めて開催している次第。
他支部の予算書などを参考にさせていただけると有り難いですね。以前に実施・徴収していた「支部会費」は、今後も徴収することはないでしょうから・・・。
で、3月末に新旧役員会を、時間差を設けて開催して交通費や会場費を抑えることにしました。
また'08年2月10日には「支部講習会」を開催。鯨岡峻氏を講師に迎えて「記録とは」を勉強することになっております。(仙台市内)



関東支部 — 近況 —

事務局長 穴戸幽香里

1. 関東支部の選挙の開票は11月11日(日)です。開票結果は支部便りに掲載します。
2. 第6回関東支部地方会・講習会ご案内
11月24、25日に山梨県甲府市で行います。会場は山梨学院大学です。
今回のテーマは「地域とともにいく音楽療法」地域に根ざすためには、音楽療法士が地域や行政にどのような働きかけをすることが必要か。韓国・釜山からの報告はじめ、座談会を行います。
特別講演は「はっぱのフレイディー」翻訳者、みらいなさんの「おとにつつまれたいのち」
演奏とお話は「ジャズと即興」ジャズピアニストの佐藤允彦さん。韓国の太鼓との即興も魅力です。
24日の講習会と25日の地方会ともに、関東支部以外の会員の方も是非参加して下さい。
駐車場も広いので、近県の方はどうぞお車で。
申し込み先・問い合わせは大会事務局FAX055-251-2933まで。

信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 小林 和子

2007年度 第5回学術大会開催

6月2～3日と2日間に渡って、第5回信越・北陸支部学術大会が、丸山敬子大会長（新潟医療福祉大学）のもと新潟にて開催された。箏と洋楽のコラボレーションで始まった初日は、一般公開の大会長講演やシンポジウムなどのプログラムで、一般参加100名、会員参加80名強という参集があり、音楽療法への関心の大きさがみられた。2日目は、研究発表・講習会というプログラムで、学際が深められた。

2008年度は、野尻恵美子大会長のもと仁愛女子短期大学（福井）を会場に、5月31日～6月1日に開催される予定である。当支部における大会は、次回にて全県開催を果たす事となり、漸く「支部体勢」が整う事となる。



東海支部 — 近況 —

支部長 吉田 豊

本年度も後半に入り、次期支部大会開催、研究紀要発刊、役員改選などに向けてそれぞれの担当者を中心に、準備作業が活発になってきました。

2008年度支部大会は、大会長柏木哲夫、大会実行委員長渡辺恭子の下に、4月26日（土）、金城学院大学（名古屋市）にて開催することが決定しました。例年通り、講演のほか、会員による演題発表を計画していて、支部会員の積極的な応募を期待しています。先般の役員会にて役割分担や大会までのスケジュールなど準備計画の概要が承認されました。今後詳細が決定し次第、支部のHPに参加者に必要な情報を掲載しますので、ぜひご覧ください。アドレスは <http://www.jmta-tokai.net/index.html> です。なお、大会には支部外の方も参加できますので、どうぞご注目ください。

研究紀要の方は、応募のあった論文の査読を経て、現在編集を進めているところです。支部紀要の発行は初めての取り組みで、一つ一つに検討や確認が必要になりますが、このような編集作業を蓄積することで、支部研究紀要も育っていくものと思います。支部大会の当日には会員の手元にわたる予定で、大会での演題発表と共に、今後この紀要が、会員が自らの実践を通して行われる研究活動の発表の場として、会員相互の研鑽につながるものとなることが期待されます。

東海支部では、支部役員を2年ごとに改選していて、次年度は改選の年に当たりますので、本年度当初から準備を進めてきました。10月中旬に会員による投票が行われ、年内には新年度のスタッフが決まる予定です。



近畿支部 — 近況 —

支部長 大前 哲彦

今期の支部活動を担う研究誌編集委員会（森忠三、清水史子）、倫理委員会（濱谷紀子、堀早苗）、渉外委員会（辻睦子、杉原千幸）、課題研究委員会（石村真紀、後藤浩子）、教育・研修委員会（伊藤美恵、鈴木暁子）、メディア委員会（大前哲彦、山田由紀子）の各特別委員会（カッコ内は正副委員長）が本格始動しました。まず、近畿支部のホームページが再構築（<http://www.jmtak.com/>）されましたので一度のぞいてみてください。また、支部会員メーリングリストに325人が登録され、情報交換に利用されています。支部内で開催される学会認定講習会は支部内の会員に公開されることが認定条件になっているためにメーリングリストに紹介されています。『近畿音楽療法学会誌』Vol.6が、12月に刊行予定で、支部会員には無料配布されます。支部外の方はアカデミア出版から購入（2,000円）してください。第7回近畿学術大会（益子務大会長、一ノ瀬智子実行委員長）は、2008年3月15～16日に武庫川女子大学で開催されます。15日は講習会で、司馬良一（兵庫県立総合リハビリテーションセンター所長）、浜田寿美男（奈良女子大学）、近藤清彦（公立八鹿病院脳神経内科部長・老人保健施設長）、松原秀樹（日本赤十字広島看護大学）らの先生をお招きします。16日は自由研究発表や大会長講演「ゴスペルの源流～黒人霊歌とフォスターにみる～」、支部総会が予定されています。詳しくは支部ホームページを見てください。

中国支部 ——— 近 況 ———

支部長 武田千代美

中国支部は、去る5月26日、27日の両日、米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）において、第7回支部大会・第10回講習会を開催しました。

国立公園大山のふもと、5月のさわやかな天候にも恵まれ、参加者はのべ300名と盛会に終えることができました。

講習会は、「臨床心理」「理学療法」「音・音楽」の立場からそれぞれ講師をお招きし、音楽療法の実践に役立つお話を頂きました。

支部大会では、昨年度まで中国支部評議員としてご尽力いただいた、若尾裕先生をお招きし、「創造性と音楽療法」と題してご講演頂きました。また、松江市立病院緩和ケア科部長の安部睦美先生に「緩和ケアはどんなケアなの？」と題してご講演頂きました。また、倉吉市在住のアフリカンパーカッションニストアラマ・ジュバテ先生をお招きし、アフリカのリズムに触れるワークショップも開催しました。

今後の予定は、11月18日に第11回講習会をくらしき作陽大学にて開催します。3講座を予定しております。

またニュースレター15号を近日中に発行予定です。近隣の講習会の案内や、次回支部大会の情報など掲載します。また「研究における同意書について」と題して、音楽療法の研究に添付が義務付けられている同意書について、わかりやすく解説されています。

会員のための支部として、今後も活発に活動してまいります。皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



四国支部 ——— 近 況 ———

事務局長 三崎めぐみ

四月から新しく始まりました四国支部は、支部長板東浩を中心に藤井澄子、山本恵子、三崎めぐみの4人で運営しております。来年1月には下記の要領で支部大会も開催予定です。よろしくお願いいたします。

第4回四国支部学術大会及び総会

日 時：2008年1月12日（土）午前10時15分～午後4時30分

場 所：徳島県郷土文化会館

参加費：事前申し込み 会員2,000円、一般3,000円

当日申し込み 会員3,000円、一般4,000円



九州・沖縄支部 ——— 近 況 ———

事務局長 西林 淑子

九州・沖縄支部におきましては、今年度支部役員の改選を行いました。選挙結果と新体制は、下記の通りです。

① 支部会員の選挙の結果、役員10人が選出されました。（投票率62%）

池田憲治、熊本庄二郎、古賀幹敏、小林真寿子、齋藤考由、齋藤 雅、高江洲義英

西林淑子、山下恵子、和田玲子 （五十音順、敬称略）

② 役員の互選により、次のように新体制が決定しました。（敬称略）

・支部長	齋藤 雅	・広報	池田憲治
・研修担当	齋藤考由	・監事	小林真寿子、和田玲子
・倫理	熊本庄二郎、山下恵子	・事務局	西林淑子

また今後の予定については下記の通りです。

- ・2007年度支部大会 日 時：2008年3月2日（日）アクロス福岡
テーマ「児童」：（発達についての講義、臨床例等）
- ・2008年度講習会 日 時：未定
開催地：福岡

学会事務局からのお知らせ

■ 2007年度資格審査を申請された方へ

2007年10月15日までに提出された申請書につきまして現在審査中です。審査結果は11月末日までに通知されます。書類審査合格者は面接試験（12月15日（土）10時～16時、または12月16日（日）10時～16時のいずれか1日、約15分間）が東京にて実施されます。

最終審査結果は2008年2月初旬に通知されます。

■ 2007年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2007年10月31日までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2008年2月初旬に通知されます。

■ 「資格認定規則（申請書）」および「資格更新規則（申請書）」の取り寄せについて

240円切手を貼付した返信用封筒（A4サイズ、宛先明記）と500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封して、希望資料名を明記の上で学会事務局へお申し込みください。

※「音楽療法士認定規則」の配布は会員限定ですので、非会員の方は入会手続き完了後の取り寄せとなります。

※資格更新の該当の方には当該年度の5月上旬、全員に事務局から送付しますので取り寄せは不要ですが、早く入用の方は上記認定規則と同じ方法でお取り寄せください。

■ 「カリキュラムガイドライン01」の取り寄せについて

120円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛先明記）を同封の上、「カリキュラムガイドライン01請求」として学会事務局へお申し込みください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は240円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛先明記）と1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。

■ 「音楽療法士（補）試験問題解説集」の取り寄せについて

2001年度から2006年度まで過去6回おこなわれました音楽療法士（補）認定試験の試験問題解説集が発行されています。1冊1,000円ですので、購入を希望される方は、希望の試験問題解説集の年度と冊数を明記の上で、送料分の切手を貼付した返信用封筒（A4サイズ、宛先明記）と冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入、1,000円×冊数）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお送料は1冊200円、2冊240円、3～5冊390円、6冊580円です。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会及び臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 第7回学術大会講習会資料集をお分けします

札幌コンベンションセンターでの第7回学術大会の際の講習会資料集につきまして、若干の余剰があります。希望される方に先着順でお分けしますので、390円切手を貼付した返信用封筒（A4サイズ、宛先明記）を同封の上、「講習会資料集請求」として学会事務局へお申し込みください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2006年度分未納の方はそのまま放置されますと2008年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口
振込先	郵便振替口座	○加入者名：日本音楽療法学会	
		○口座番号：00120-9-657711	

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載することになりました。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。